

年代別 備えたい

リスク対策のポイント

4月は生活環境に変化のある方がたくさんおられます。近頃はコロナウイルスの事もあり自宅で過ごす時間が増えているのでこの機にリスク対策について考えてみてはいかがでしょうか？日頃慌ただしく過ごされてなかなか時間がないので、リスクへの備えがどの程度出来ているかを確認してみてください。備えをしておくことで安心感が膨らみます。今回はFPとしてのワンポイントアドバイスを年代別に記していますので、ご自身や周りの方の事を念頭においてみてください。



FP保険の相談所

垂水駅前店 078-862-8451 西神戸店 078-921-7701

営業時間：10：00～17：00 営業時間：9：30～17：30

営業日：月・火・木・金 営業日：月～金

ホームページ：右のQRコードから または

ライフプロモーション神戸で検索



＜取扱保険会社＞ メットライフ生命 アフラック

オリックス生命 三井住友海上あいおい生命

FWD富士生命 ジブラルタ生命 アクサ生命

東京海上日動あんしん生命 SOMPOひまわり生命 NN

生命 三井住友海上火災 ソニー損保

FP保険通信

NO.47 2020.4 発行

20代 親から独立し、自分自身で様々な事に対応するために、入院や将来に向けての資産形成などを考えるようになります。入院については、男性の場合、病気の入院リスクはまだ高くありませんが、**女性は女性特有の病気に対して早めに備えた方が望ましい**と感じます。子宮頸がんや乳がんなどは若い女性にも多く、治療費もかさみます。何より男女共に一度大きな病気になると、保険の加入はしばらくできなくなってしまう事もありますので早めの準備が必要になります。将来に向けてコツコツ貯める努力も大切です。しばらく使うことがないお金は保険で貯めることも出来ますが、預貯金とのバランスを考えて金額を分散することがいいと思います。

30代～40代 人によって環境や生活スタイルに違いがある時期ですが、20代よりも身体の不調や変化が起こる方が増え始め、**入院やがんに備える必要性が高まります**。健診で再検査の指摘を受けたり持病を持つまでに、ご自身に必要な保障の確保を考えてみてください。また老後に向けての資金作りを開始していない方は、来年から…と考えずに一日でも早くスタートしていただきたいと思います。コツコツ貯めて明るいセカンドライフを過ごせる準備を始めてください。

50～60代 セカンドライフに向けて、どのくらいの準備が出来ているかを確認する時期になります。大きな死亡保障が不要になっている場合は整理をし、今後の大きな病気や介護に備える事を考えてください。また人生100年時代は喜ばしいことなのですが、生きていく為に生活資金が必要になるのも事実です。**今後のお金の収支をシュミレーション**する事で、早めに対策を講じることが出来ます。平均寿命を目安に資金がマイナスにならないようにしたいですね。

70代～ 終活の一つとして、お子様がおられる方は「争族」にならないように対策することも必要です。持ち家や土地がある場合、遺産の分割がうまくいかずにもめ事になるケースがあります。身内間での争いが起こらないように死亡保険金や遺言状の作成等で解消が出来ることもあります。また相続税は現金納付が基本となっていますのでその準備も必要になってきます。



少しの事前準備でリスク回避が出来ることもあります。人によって状況などは異なりますが、どのように考えたり備えたりすればいいのか、是非スタッフにお気軽にご相談ください。

